

## 国語科年間評価計画（第一学年）

### 1. 教科目標(「中学校学習指導要領」(平成10年12月)より)

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

### 2. 上菅田中学校国語科指導目標

基礎・基本の習得のもとに、正しく考え理解する力を育て、自己を的確に表現し進んで伝え合う力を養います。

### 3. 第1学年の学年目標(「中学校学習指導要領」より)

- (1) 自分の考えを大切にし、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を高めるとともに、話し言葉を大切にしようとする態度を育てる。
- (2) 必要な材料を基にして自分の考えをまとめ、的確に書き表す能力を高めるとともに、進んで書き表そうとする態度を育てる。
- (3) 様々な種類の文章を読み、内容を的確に理解する能力を高めるとともに、読書に親しみものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。

期	月	指導事項					学習材	学習目標	時数	学習活動	評価規準	主な評価資料・評価方法
		関心・意欲	A話す・聞く	B書く	C読む	言語事項						
前 期	4						名づけられた葉	読み方を工夫して朗読する。	1	1 詩の意味を考えながら朗読を工夫し、発表して聞き合う。 2 「名づけられた葉」の意味を話し合う。	・詩に表れている作者のものの見方や考え方にふれて、自分のものの見方や考え方を広くしている。	《通年》 観察記録法 発表による評価 プリントによる評価 自己評価 相互評価
							話し方はどうかな	言葉の響きを楽しみ、適切な声の出し方を身につける。	2	1 学習材を読んで「話し方」について内容をとらえる。 2 さまざまな速さで話すことを通して伝わり方を確かめ合ったり、「聞き手によく分かるような話し方」について、文章の内容やこれまでの学習経験をふまえて話し合ったりする。	・書き手の考えの進め方や説明の仕方に即して内容をとらえている。 ・速度や言葉の調子や間の取り方などに注意して、話し方について考えている。	
							声に表情をつけよう	適切な声の表情で伝える練習をする。	1	1 学習材に沿って実際に学習してみる。 2 気づいたことを話し合ったり、ノートにまとめて発表し合ったりする。	・速度や言葉の調子や間の取り方などに注意して、話し方について考えている。	
							あなたも詩人	自由な発想で短い詩を作り発表する。	2	1 学習材に沿って実際に創作してみる。 2 「発想のユニークさ」「共感の度合い」など、視点を決めて、お互いの作品のよいところを指摘し合ったり、感想を述べ合ったりする。	・身近な生活や学習の中から題材を見つけ、自分の見方や考えを書いている。	
							話し言葉と書き言葉	話し言葉と書き言葉の違いについて考える。	1	1 学習材を読みながら、「ア～ク」についてそれぞれ考える。 2 話し言葉と書き言葉の違いやそれぞれの特徴などについて、分かったことをノートにまとめて発表し合う。	・話し言葉と書き言葉の違いについて理解している。	
							文法とは・言葉の単位 [日本語はとて難しい言葉です]	言葉の単位について学ぶ。	2	1 学習材を読みながら、「ア～エ」についてそれぞれ考える。 2 P183の練習問題に取り組み、学習内容を確認する。 3 「文章」「文」「文節」「単語」について整理し、文法を学習する意味を考える。	・言葉の単位について理解している。	
							脳のはたらきを目で見 てみよう	情報を整理して読み取る。	4	1 学習材に沿って実際に学習してみる。 2 「課題」に取り組む。 3 「聞くことの自己評価」を行い、学習を振り返る。	・さまざまな文章から必要な情報を集めるための読み方を身につけている。	
5						聞き上手になろう・正しく聞く	場面に応じた聞く力を養う。	4	1 学習材に沿って実際に学習してみる。 2 「課題」に取り組む。 3 「聞くことの自己評価」を行い、学習を振り返る。	・話し手の意図を考えて話の内容を聞き取っている。		

				書写〔楷書を書こう〕	楷書の筆遣いと字形の整え方を確かめる。 字形の仕組みと筆順のきまりを確かめる。	4	1 書写学習の仕方を知る。 2 基本的な筆遣いを学ぶ。	・毛筆の楷書の基本的筆遣いを確認し、文字の大きさ、配置に配慮し、丁寧に書いている。
6				分かりやすく書こう	伝えたい事実や事柄を分かりやすく説明する。	8	1 学習材に沿って、学習の目標やポイントをつかむ。 2 「課題」の中から一つ選び、具体的な題材を決めて材料を集め、1で学んだ説明の仕方を参考にして構想を立てる。 3 構想にしたがって「分かりやすく説明する文章」を書く。 4 ペアやグループで書いた文章を読み合い、相互に推敲し合う。 5 相互推敲をふまえ、書き直す。 6 学習のまとめをする。	・伝えたい事実や事柄、課題、自分の考えや気持ちを明確にしている。
				漢和辞典の使い方	漢和辞典の使い方を理解する。	1	1 学習材を読んで、漢和辞典について知る。 2 漢和辞典を使って、「部首あてクイズ」や「読み方クイズ」などを作り、漢和辞典で調べ合う。	・漢和辞典の使い方を理解している。
				語の意味と文脈	多義の言葉の意味と文脈について知る。	1	1 学習材を読んで、多義や文脈について知る。 2 「研究」に取り組む。 3 国語辞典等を活用して、多義の言葉を見つけて発表し合う。	・語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意している。
				(導入) 読書を楽しもう さんちき 碑 見よう 読もう 楽しもう	読書に親しみ、いろいろなものの方、考え方にふれる。	8	1 さまざまな読書の楽しみ方があることを知る。 1 学習材を読み、感想や主題に対する自分の読みを生かしてサブタイトル(P49「わたしのタイトル」)を考える。 2 グループ等でタイトルとそれを考えた理由を発表し、話し合う。 1 学習材を読み、感じたり考えたりしたことを生かして、P48「本の帯を作ろう」を参考にしながら本の帯を作る。 2 グループ等で「碑」の帯を紹介し合い、相互に批評し合う。 1 読書に親しむための資料として活用する。	・文章に表れているものの方や考え方を理解し、自分のものの方や考え方を広くしている。(C - オ) ・文章に表れているものの方や考え方を理解し、自分のものの方や考え方を広くしている。(C - オ) ・さまざまな文章から必要な情報を集めるための読み方を身につけている。(C - カ)
7				活字と書き文字・画数	活字と書き文字の字体の違いに関心を持つ。	1	1 学習材を読んで、 について字体の違いや気づいたことを話し合う。 2 「画数」を読んで、 について確かめる。	・活字と書き文字の字体の違いについて理解し、関心を持っている。
				文の成分・連文節〔きつぱりと冬が来た〕	文節のはたらきについて学ぶ。	2	1 学習材を読んで、文の成分や連文節について知る。 2 P184「文の成分・連文節」を使って、文の成分や連文節について学習する。 3 P185・187の練習問題に取り組み、学習内容の確認をする。	・文節のはたらきについて理解している。
				書写〔楷書と仮名を書こう〕	楷書と仮名の筆遣いを確かめる。 仮名の筆遣いや字形を確かめる。 行の整え方や文字の大きさを確かめる。	4	1 字形を整えて書く。	・毛筆・硬筆ともに字形を整えて、全体の配列など、調和よく書いている。
9				竹取物語	古典に興味を持ち、古典に親しむ。	4	1 現代語訳と対照して古文の部分を音読したり、あらすじを読んだりして、竹取物語のあらましを知る。 2 「学習の課題」に取り組む。	・古文の語句や仮名遣いに注意しながら音読し、文章の展開に即して内容をとらえている。(C - イ)
				枕草子		4	1 枕草子や清少納言についてあらましを知る。 2 「学習の課題」を確かめ、古文を読み味わう。 3 「学習の課題」に取り組む。	・古文のリズムを感じながら音読し、文章に表れているものの方や考え方について考えている。(C - オ)



					一〇〇秒スピーチをしよう	身近な話題について自分が感じたことを話す。	4	1 学習材に沿って、学習のポイントをつかむ。 2 話題を決め、材料を集めて、スピーチの準備をする。 3 個人やグループで練習する。 4 グループや学級でスピーチの発表をする。	・自分の考えや気持ちを伝えるのにふさわしい話題を選び出し、取り上げている。
					視点を変えて書きかえよう	作品を選び、視点を変えて書き換える。	1	1 学習材を読んで、「視点」について知り、学習活動のポイントをつかむ。 2 これまでに読んだ作品の一部を取り上げて、別の視点で書いてみる。 3 グループ等で書きかえた作品を紹介し合い、感想や気づいたことを話し合う。	・書いた文章を読み返して、読みやすくする工夫をしている。
					漢字の成り立ち	漢字の成り立ちについて知る。	1	1 「新しい漢字の作り方」を読んで、六書のうち「象形・指事・会意・形声」の四つについて理解する。 2 「既にある漢字の新しい使い方」を読んで、「転注・仮借」について理解する。 3 から の問題に取り組み、漢字の成り立ちについての理解を深める。	・漢字の成り立ちについて理解し、漢字の字形に関心を持っている。
					書写〔行書を書こう〕	文字の大きさや配列・配置、中心に気をつけて書く。	4	1 これまでに学習した行書の特徴を確かめ、行書の学習を生かして書く。	・楷書と行書の違いを知り、行書に慣れ、正しく書ける。
12					書写	日本の伝統行事である「書き初め」・「百人一首」を理解し、しっかりと準備をして、書き初め・百人一首の練習に取り組む。	4	1 書き初めの練習をする。	・画仙紙に慣れ、配置を考え、しっかりと字形を整えて書く。
				百人一首	8		1 百人一首を練習をする。	・百人一首に慣れ、決まり字などを覚え、しっかりと取り組んでいる。	
1					(導入) わたしの国語学習	学習の内容や方法を工夫して、言葉の学びを広げる。	4	1 「学習の流れ」を読み、学習のあらましをつかむ。 2 P145～160の四つの学習材をひとつおき読んで、興味を持った点や学習したい事柄を発表し合う。 3 授業者と相談しながら学習材を選択し、学習計画を立てる。 4 計画に従って学習を進める。	
				方言のクッション	8		【学習計画例1】 「方言のクッション」を読み、各地の方言について調べてみる。 (1)学習材を読んで、おもしろいと思ったことや印象的だったことなど、読後の感想を書く。 (2)大阪弁や福井弁について筆者がどんなふう感じているか文章中から抜き出す。 (3)P206「日本語の美しいひびき」で各地の方言を読み、自分たちがふだん使っている言葉と比べてみる。 (4)インターネットや図書を使って、各地の方言を調べる。 (5)調べた方言について自分の感想や印象をまとめる。 (6)もう一度「方言のクッション」を読んだうえで、「方言(生活言語)」や「日本語の言葉」について、考えたり気づいたりしたことをレポートにまとめる。	・文章の展開に即して内容をとらえ、要約している。(C-イ) ・文章に表れているものの見方や考え方を理解し、自分のものの見方や考え方を広げている。(C-オ) ・さまざまな種類の文章から必要な情報を集めて活用している。(C-カ)	

